

令和3年度上半期 予算執行状況 (4月1日～9月30日)

一般会計

款	予算現額	収入済額
市税	197億2,900万円	121億9,437万円
国庫支出金	81億5,770万円	29億627万円
市債	48億2,640万円	0万円
県支出金	35億323万円	3億8,300万円
地方消費税交付金	29億8,000万円	17億4,683万円
地方交付税	29億7,598万円	21億67万円
諸収入	14億4,659万円	9億3,263万円
繰越金	14億4,636万円	19億7,042万円
繰入金	10億9,988万円	0万円
使用料及び手数料	5億9,375万円	3億2,681万円
その他	16億6,989万円	6億7,125万円
計	484億2,878万円	232億3,225万円

款	予算現額	支出済額
民生費	191億8,445万円	90億2,375万円
土木費	64億276万円	20億2,049万円
衛生費	51億8,680万円	17億5,520万円
教育費	49億3,571万円	15億3,111万円
総務費	43億1,976万円	15億1,881万円
公債費	42億1,915万円	20億2,784万円
消防費	16億4,069万円	6億9,606万円
その他	25億3,946万円	10億8,985万円
計	484億2,878万円	196億6,311万円

特別会計

会計名	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険	122億3,500万円	53億8,989万円	44.1%	49億396万円	40.1%
介護保険	100億537万円	50億4,054万円	50.4%	39億2,075万円	39.2%
後期高齢者医療	37億6,092万円	18億5,128万円	49.2%	14億9,859万円	39.8%
稲沢西土地区画整理事業	4億7,984万円	4億9,385万円	102.9%	7,921万円	16.5%

企業会計

会計名	科目	予算現額	収入済額	支出済額	執行率
病院事業	収益的	収入	74億1,162万円	37億9,844万円	51.2%
		支出	77億131万円	32億2,440万円	41.9%
	資本的	収入	4億9,534万円	1億5,954万円	32.2%
		支出	6億5,512万円	3億3,536万円	51.2%
水道事業	収益的	収入	28億5,502万円	14億988万円	49.4%
		支出	24億6万円	10億4,113万円	43.4%
	資本的	収入	7億4,752万円	8,394万円	11.2%
		支出	27億9,160万円	4億4,617万円	16.0%
公共下水道事業	収益的	収入	19億3,454万円	9億7,017万円	50.1%
		支出	19億724万円	8億9,331万円	46.8%
	資本的	収入	21億2,037万円	6億957万円	28.7%
		支出	29億6,949万円	12億7,444万円	42.9%
集落排水事業	収益的	収入	2億7,111万円	1億2,418万円	45.8%
		支出	3億3,892万円	1億4,757万円	43.5%
	資本的	収入	7,079万円	3,910万円	55.2%
		支出	7,079万円	3,056万円	43.2%

病院事業 業務量

患者数(入院)	28,488人(1日当たり155.7人)
患者数(外来)	65,221人(1日当たり534.6人)
計	93,709人
外来診療日数	122日
許可病床数	320床
稼動病床数	242床

※1日当たりの患者数(外来)は、患者数(外来)を外来診療日数で割った数

水道事業 業務量

給水栓数	58,622栓
配水量	7,738,452m ³
給水量	7,170,549m ³
県水受水量	3,254,124m ³
有収率	92.7%

公共下水道事業 業務量

総排水量	2,949,813m ³
1日平均排水量	16,119m ³

集落排水事業 業務量

総排水量	429,245m ³
1日平均排水量	2,346m ³

令和2年度決算 健全化判断比率・資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」では、市の財政状況が健全かどうかの目安となる「健全化判断比率」(実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率の4つの指標)と「資金不足比率」の公表を義務付けています。令和2年度決算で算定した各指標は、国が定めた基準は全てクリアし、市の財政状況は健全であるという結果となりました。

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
健全化判断比率	-	-	2.8%	3.7%
早期健全化基準	11.85%	16.85%	25.0%	350.0%
財政再生基準	20.00%	30.00%	35.0%	

※実質赤字比率・連結実質赤字比率の「-」は、赤字額がないことを示す

会計名	資金不足比率	経営健全化基準
稲沢西土地区画整理事業特別会計	-	20.0%
病院事業会計	-	
水道事業会計	-	
公共下水道事業会計	-	
集落排水事業会計	-	

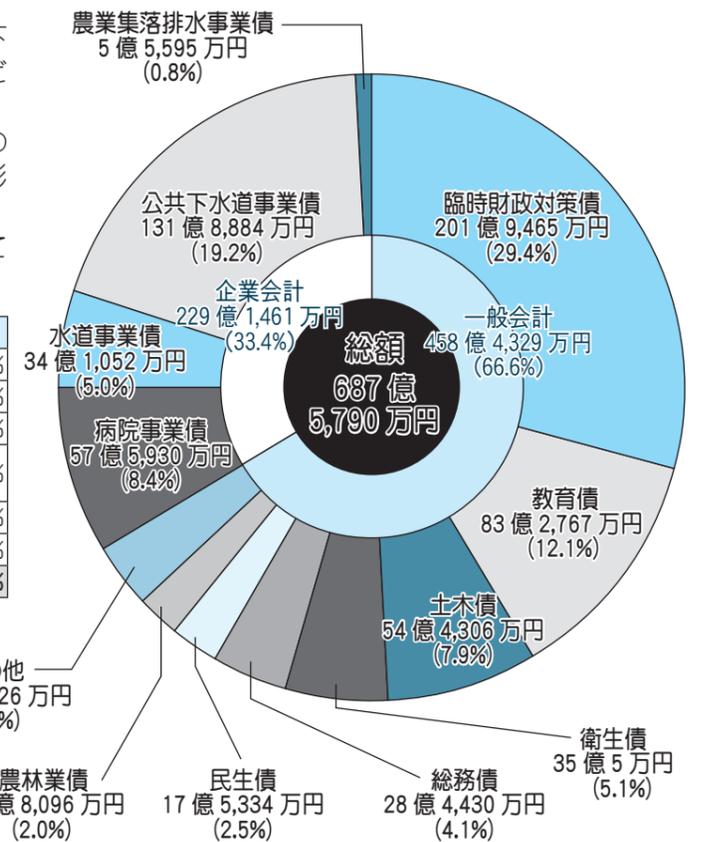
※資金不足比率の「-」は、資金不足額がないことを示す

市債の現在高 (令和3年9月30日現在)

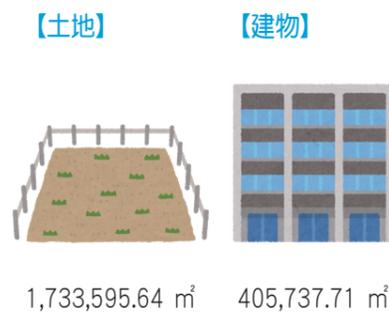
市債は、市民生活の基盤である道路や上・下水道、公園、学校などを整備するときに国などから長期間にわたって借りるお金です。これらの施設は後の世代に引き継がれるものであるため、建設費用を借入金の返済という形で長期間に分割して後の世代にも負担を求め、世代間の負担を公平にするという役割も持っています。

一般会計 借入先	借入額	割合
財務省	230億2,873万円	50.2%
市中銀行、その他金融機関	170億2,669万円	37.1%
地方公共団体金融機構	34億4,593万円	7.5%
(株)かんぽ生命保険	14億9,953万円	3.3%
(株)ゆうちょ銀行	7億6,853万円	1.7%
愛知県市町村振興協会	7,388万円	0.2%
全国市有物件災害共済会		
計	458億4,329万円	100%

※市民1人当たりの市債額は約34万円です



市有財産の状況 (令和3年9月30日現在)



【基金】
 財政調整基金 42億3,169万円
 その他特定目的基金 100億9,357万円
 (都市基盤整備基金(34億4,587万円)、公共施設整備基金(15億5,470万円)、介護給付費準備基金(9億5,430万円)、福祉基金(7億7,974万円)、減債基金(6億1,521万円)など)
 土地開発基金
 現金 6億952万円、土地 4,885.42m²
 ※市民1人当たりの基金額は約11万円です

市勢の状況

人口 135,586人
 世帯数 55,794世帯
 面積 79.35 km²
 (令和3年9月30日現在)

